

# 海軍公報

第二千九百九十六號

大正十一年十月二日(月)  
海軍大臣官房

## ○ 遍 牒

大正十一年九月二十六日

舞鶴海軍工廠

關係各部御中

物品送り先驛ニ關スル件

鐵道便ニ依リ當廠宛送付セラルル物品ニシテ往々舞鶴驛卸シトセラルルモノ有之取扱上不便不尠俟條爾後必ス中舞鶴驛(兵器庫需品庫宛ノモノハ新舞鶴驛)卸シトシテ御發送相成様致度右爲念照會ス

## ○ 辭 令

○大正十一年十月一日

田中 文作  
山本 盛久  
高野 拳治

(各通)

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

野口 博高  
梅澤 盛雄  
豊田 多郎  
久保 友藏  
前田 耕作  
西井 拾幸  
三原 義夫  
問宮 千代七  
池田 定利  
西村 正之  
藤井 茂傳  
山縣 邦彦  
有馬 邦彦  
竹田 正稔  
難波 正稔  
福本 哲治  
齋藤 師治  
廻藤 正美  
大門 喜三郎  
上田 重次郎

海軍公報 第二千九百九十六號 大正十一年十月二日

九四九

0318

任海軍豫備一等機關兵曹

加藤 弘  
貞末 知之  
谷口 國雄

通信事務官 新名 直和

海軍省事務囑託ヲ解ク

通信事務官 野田 義夫

海軍軍用郵便監督官事務並横須賀鎮守府望樓監督官  
附囑託ヲ解ク

通信書記 山本 勝

海軍軍用通信吏ヲ免ス(以上皆海軍省)

海軍艦政本部事務兼海軍大臣官房事務囑託

(各通) 海軍建築本部事務兼海軍省軍務局事務囑託

岩倉 山路  
明石 昇太郎

自今報酬月額百拾圓ヲ給ス

水路部ニ於ケル海洋ニ關スル調査事務囑託

名越 士朗

自今報酬月額百圓ヲ給ス

水路部ニ於ケル水路圖誌編纂調査事務囑託

武村 善夫

自今報酬月額八拾五圓ヲ給ス

水路部ニ於ケル編曆ニ關スル計算事務囑託

原 完二

自今報酬月額八拾圓ヲ給ス

横須賀海軍建築部所掌建築業務囑託

自今報酬月額九拾五圓ヲ給ス

本岡 玉樹

吳海軍建築部所掌土木工事業務囑託

(各通) 同

岩田 壽美吉  
飯田 正熊

自今報酬月額百參拾參圓ヲ給ス

佐世保海軍病院齒科治療囑託

自今報酬月額百圓ヲ給ス

笹野 榮

同

中島 恭章

自今報酬年額千六百圓ヲ給ス(以上皆海軍省)

海軍省人事局恩給事務囑託

(各通) 同

藤田 治朗

仁科 誠三郎

海軍省人事局行賞事務囑託

同

影山 廣人

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

海軍省人事局恩給事務囑託

渡邊 要之助

自今報酬月額七拾圓ヲ給ス(以上皆海軍省人事局)

囑託 松田 鐵平

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス(皆海軍省經理局)

0319

海軍軍令部編纂事務屬託 別府千代太郎  
自今報酬月額百圓ヲ給ス

岡部 民雄  
自今報酬月額七拾圓ヲ給ス(以上計海軍軍令部)

○艦船所在

▲印ハハカ  
指定ヲ要セス

○十月二日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、ト金剛、霧島、比叡、  
ト球磨、木曾、大井、多摩、ト天龍、ト矢矧、韓崎、  
若宮、阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、  
三笠、鳳翔、長良、北上、滿州、ト秋津、葛、ト竹、  
榎、梨、樅、ト柿、楡、栗、梅、ト菱、巖、ト如月、神風、  
初霜、響、有明、吹雪、ト野風、沼風、ト峯風、澤風、  
沖風、矢風、ト帆風、夕風、ト沙風、ト太刀風、ト秋風、  
灘風、羽風、島風、ト春風、初春、初雪、ト追風、  
疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、ト潜二九、潜二八、  
潜三〇、ト潜三五、潜三四、潜三六、ト潜三九、  
潜三八、ト潜九、潜八、ト潜一四、潜一五、潜四〇、  
潜四一、潜四六、潜五八、ト鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
尻矢、關東、膠州、洲崎▲

【石川島】 龍  
【浦賀】 五十鈴  
【荻ノ濱】 明石

【大湊】 樺、桑、ト潜二六、潜二五、  
第十八小野丸

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、  
駒橋、千歲、ト菊月、長月、水無月、ト谷風、江風、菊、  
葵、藤、ト潜一〇、潜一一、潜一二、ト潜一三、  
潜一六、潜一七、ト潜二三、潜一九、潜二〇、  
ト潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、潜五一、  
大和、劍埼、鶴見、青島

【大阪】 驅一六、石廊

【神戶】 鬼怒、驅二、潜四七、潜五七

【内海】 卯月

【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
敷島、須磨、常磐、最上、淀、ト樹、ト松、  
杉、ト檜、桃、柳、ト蓼、蓮、ト白雪、後、野分、  
松風、ト潜二二、潜一八、ト潜三三、潜三二、潜三一、  
潜四五、潜六二、ト鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襦袢

【神浦】 櫻

【長崎】 驅一

【馬公】 利根、ト櫻、橘、樺、桐、ト潜四三、  
潜四二、高崎

【新舞鶴】 吾妻、平戸、ト若葉、潮、朝風、子日、  
ト時津風、磯風、天津風、濱風、波風、ト水七三、  
水七二、水七四、水七五、大泊、野島

【鎮海】 筑摩

【元山】 日向

海軍公報 第二千九百九十六號 大正十一年十月二日

九五

0320

0321

【巨文島】	浦	木浦	海州	鎮南浦	旅順	南洋群島	浦	泥港	尼港	【ベ】	【九】	漢口	宜昌	長沙	重慶	【タラカン】	【サントス】	【紐育】	
浦	梅	楓	桂	浦波、綾波、磯波	勝力、松江	口春日、日進、口海風、山風、榎、楢	口春日、日進、口海風、山風、榎、楢	口春日、日進、口海風、山風、榎、楢	口春日、日進、口海風、山風、榎、楢	口春日、日進、口海風、山風、榎、楢	新高、八雲	宇治	對馬	伏見	岡田	鳥羽	野間	淺間、磐手、出雲	神威

○ 雜 款

○ 艦艇變更  
 第三戰隊司令官ハ九月三十日旗艦ヲ木曾ヨリ球磨ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更  
 第八驅逐隊司令ハ九月三十日司令驅逐艦ヲ有明ヨリ如月ニ變更セリ

○ 郵便物發送先  
 第一艦隊司令部、長門、第二戰隊司令部、金剛、阿蘇、若宮、第八驅逐隊（如月、有明、吹雪、神風、初霜、響）、第四潜水隊（第二十八、二十九、三十潜水艦）、第五潜水隊（第三十八、三十九潜水艦）宛

十月 七 日迄到著見込ノモノハ 横 須 賀  
 同 十 日迄 同 館 山  
 其ノ後ハ 横 須 賀  
 追テ第一艦隊館山在泊中ハ陸上假設無線電信所設

【航海中】  
 佐多（九月十八日横須賀發「タラカン」へ）  
 能登呂（九月二十五日「タラカン」發徳山へ）

置ニ付同港泊各隊、艦(隊)宛電報ニハ「ハキ」ノ  
指定ヲ要セス

第三戰隊司令部、球磨、多摩、大井、木曾宛

自今

横濱

第二驅逐艦宛

十月 八

日迄到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

吳 佐世保

第二十二潜水隊(第四十三、四十二潜水艦)宛

十月 十

日迄到着見込ノモノハ

其ノ後ハ

馬 公 佐世保

○特務艦室戸行動豫定中變更(九月一日本欄参照)

室戸行動豫定中吳發十月二日ヲ一日ニ變更シ以後ノ行  
動ヲ一日宛繰上ク

○事務所設置

第十六驅逐艦艦裝員事務所ヲ大阪藤永田造船所敷津工  
場内ニ設置シ九月二十九日ヨリ事務ヲ開始セリ(第十  
六驅逐艦艦裝員長)

○事務所撤去

神戸川崎造船所内ニ設置中ノ第二驅逐艦艦裝員事務所  
ハ九月三十日限り撤去セリ(第二驅逐艦艦裝員長)

○虎列刺發生報(九月三十日、十月一日)  
(内務省衛生局)

九月二十八日福岡縣久留米衛戍病院附軍醫一名、看護  
長一名眞症ト決定

佐賀縣小城郡北多久村ニ二十九日眞症一名發生二十八  
日報ノ疑似症中ノ一名二十九日眞症ト決定、三十日眞  
症二名、疑似症三名發生、南多久村、西多久村各一名  
眞症發生

千葉縣銚子港碇泊漁船乗組員ニ疑ハシキ患者十三名發  
生内二名ハ三十日眞症ト決定、他ニ銚子港ニ眞症二名、  
疑似症三十六名九月三十日發生

九月三十日千葉縣安房郡和田町二名、同白濱村二名疑  
似症發生(銚子港ヨリ歸港ノ漁船中)同郡湊村八名、  
白濱村一名、海上郡高神村一名、同船木村四名、印旛  
郡木下町一名各疑似症發生

福岡縣 累計 眞症 一七五名  
疑似症 一二三名  
保固者 四名

佐賀縣 累計 眞症 八名  
疑似症 三名

千葉縣 累計 眞症 四名  
疑似症 五五名

東京市淺草區橋場町一〇九番地一名九月三十日發病十  
月一日疑似症ト決定(東京市初發)

○「ペスト」發生報(十月一日)  
(内務省衛生局)

東京市淺草區橋場町一〇九番地一名九月三十日發病十  
月一日疑似症ト決定(東京市初發)

0322

九月三十日大阪市南區西賑町（疑似十七號惠家附近警  
戒區域内）荷造業男一名疑似症ト決定

大阪府 累計

眞症

一四名  
疑似症

海軍屬飯島元太郎ハ去月二十七日死去セリ

(部内限ナシ)

0323

# 海軍公報

第二千九百九十七號

海軍大臣官房

大正十一年十月三日(火)

## ○通牒

官房第三三五一號

大正十一年十月三日

海軍省副官 藤田 尚徳

艦隊、鎮守府、要港部、參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可證名義變更ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ  
右通牒ス

記

○福岡縣福岡市海岸通四丁目二番地博多「トロール」  
株式會社ハ同縣同市下對馬小路二十五番地博多「ト  
ロール」株式會社内太田清藏外十五名代表者太田清藏ヨ  
リ左記「トロール」汽船ヲ讓受ケタルニ付其ノ許可名  
義ヲ同社ニ變更セリ

許可番號	第五一號	第六〇號
船名	第一博多丸	第二博多丸

海軍公報 第二千九百九十七號 大正十一年十月三日

九五五

許可年月日 大正九年十一月三日 大正九年十二月三日

經校第一五三號ノ七

大正十一年十月三日

海軍經理學校

東京 橫須賀 海軍高等官御中

來ル六日(金曜日)本校第十九期高等科經理術練習生  
卒業式施行候條當日午前九時三十分迄ニ御來校被下度  
御案内申上候

## ○辭令

造船造兵監督業務囑託 長尾盛之助

自今報朔月額五拾貳圓ヲ給ス(計海軍艦政本部)

## ○艦船所在

相定ヲ便セス

0324

○十月三日午前土時調

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
 口球磨、木曾、大井、多摩、口天龍、口矢矧、神崎、  
 若宮、阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、  
 三笠、鳳翔、長良、蒲州、口秋津、葛城、口竹、樞、梨、  
 口梯、榆、栗、梅、口菱、嶽、葦、口如月、神風、  
 初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、淨風、  
 沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、口太刀風、口秋風、  
 霧風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、  
 疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潛二九、口潛二八、  
 口潛三〇、口潛三五、口潛三四、口潛三六、口潛三九、  
 口潛三八、口潛九、口潛八、口潛一四、口潛一五、口潛四〇、  
 口潛四一、口潛四六、口潛五八、口鷗、口鶴、口雉、口白鷹、口富士、  
 口尻矢、口關東、口膠州、口洲崎、

【石川島】 五十鈴  
 【浦賀】 北上  
 【伊東】 椿、桑、口潛二六、口潛二五、  
 【大湊】 第十八小野丸  
 【小樽】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、  
 駒橋、千歳、口菊月、長月、水無月、菊、葵、藤、  
 口潛一〇、口潛一一、口潛一二、口潛一三、口潛一六、  
 口潛一七、口潛二三、口潛一九、口潛二〇、口潛二七、  
 口潛二二、口潛二四、口潛三七、口潛四四、口潛五一、口大和、  
 口劍埼、口鷗見、口青島、  
 【大阪】 卯月、口曙一六、口石廊

【神戶】 鬼怒、口三、口潛四七、口潛五七、  
 【瀬谷】 口谷風、口沼風、  
 【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
 敷島、須磨、常磐、最上、淀、口榊、口柏、口松、  
 杉、口檜、口櫻、口桃、口柳、口蓼、口蓮、口萍、口白雲、口筱、  
 口野分、口松風、口潛十一、口潛一八、口潛三三、口潛三二、  
 口潛三一、口潛四五、口潛六二、口鷲、口鶴、口雲雀、口鶴、口知床、  
 口襟裳、口室戸

【長崎】 驅一  
 【馬公】 利根、口櫻、口橘、口樺、口桐、口潛四三、  
 口潛四二、口高崎  
 【新舞鶴】 吾妻、口平戸、口若葉、口潮、口朝風、口子日、  
 口時津風、口磯風、口天津風、口濱風、口波風、口水七三、  
 口水七二、口水七四、口水七五、口大泊、口野島

【鎮海】 筑摩  
 【元山】 日向  
 【巨文島】 口楠  
 【木浦】 口楓  
 【海州邑】 口楓  
 【鎮南浦】 口桂  
 【旅順】 口浦波、口綾波、口磯波  
 【南洋群島】 口勝力、口松江  
 【浦鹽】 口春日、口日進、口海風、口山風、口桜、口檜  
 【亞港】 口千早  
 【泥港】 口夕暮、口鞍馬丸



【尼 港】 日夕立、白露  
【べ 港】 巨櫛、楨

【九 江】 新高

【漢 口】 宇治  
【宜 昌】 對馬、饅餓

【長 沙】 伏見

【重 慶】 岡田

【タラカン】 鳥羽

【フエノアイレス】 佐多

【航海中】 淺間、磐手、出雲

龍登呂 九月二十五日「タラカン」發徳山へ

八雲 九月三十日「オゼルナヤ」發小樽へ

野間 九月三十日「タラカン」發徳山へ

安宅 一日大阪發佐世保へ

武蔵 一日川内發横須賀へ

三日月 一日泥港發尼港へ

明石 二日荻ノ濱發測量地へ

神威 二日紐育發「ノトフオーク」へ

○ 雜 款

○ 事務引繼

前軍令部副官南郷大佐ハ十月二日大湊軍令部副官ニ事務引繼ヲ了セリ

○ 虎列刺發生報 (十月二日 内務省衛生局)

東京市京橋區本八町堀一ノ三、一名。四谷區左門町八五、一名。深川區東森下町六〇、一名。淺草區千束町二ノ三四六、一名。小石川區竹早町高等師範學校學生一名。京橋區本港町港河岸二二號地先船中一名。本所區中ノ郷元町一二、二名。日本橋區元小田原町七、一名。神田區和泉町一ノ一號、一名。京橋區木挽町九ノ四、一名。日本橋區元小田町二〇、一名。本所區石原一、一名。何レモ二日眞症ト決定。昨報淺草區橋場町一〇九ノ疑似症一名ハ一日眞症ト決定  
昨報中千葉縣安房郡和田町二名。同白濱村二名ノ疑似症ハ一日眞症ト決定。外ニ海上郡銚子港二十八名。同郡船木村一名。同郡豊浦村一名。同郡飯岡町一名。安房郡勝山町二名。同郡館山町二名。湊村四名。同郡白濱村三名。富浦村二名。和田町一名計四十五名疑似症發生  
茨城縣那珂郡湊町ニ入港セル千葉縣漁船中ニ疑似症二名發生。鹿島郡東下村ニ同二名發生  
昨報中佐賀縣小城郡北多久村ノ疑似症三名ハ一日眞症ト決定。他ニ同村ニ保菌者四名發見

# 海軍公報 附録

大正十一年十月三日(火)  
海軍大臣官房

## ○ 辭令 (慰勞賜金)

海軍二等水兵勳八等 中村 照吉  
戰役ノ勤勞ニ依リ金六拾圓ヲ賜與ス  
大正七年十月十四日

元雇員 鈴木 とし  
大正四年乃至九年戰役ノ勤勞ニ依リ金貳拾五圓ヲ賜與ス  
大正九年三月十九日

○ 削除  
大正十年三月二日附録慰勞賜金辭令中左記一名ヲ削除ス  
六頁 下段 二等水兵勳八等 中村 照吉  
同年十月七日附録慰勞賜金辭令中左記九名ヲ削除ス  
一〇頁 上段 元雇員 鈴木 とし  
三七頁 下段 佐藤 義房  
八二頁 上段 垣内 政吉  
八三頁 下段 豊田 岩吉

八五頁 下段 松谷 市太郎  
八九頁 上段 石本 品平  
九〇頁 同 吉岡 藩  
一〇九頁 同 町田 源一  
一一八頁 下段 勳八等 三繩 米吉

海軍公報 附録

# 海軍公報

第二千九百九十八號

海軍大臣官房

大正十一年十月四日(水)

## ○通牒

官房第三三五五號

大正十一年十月四日

海軍省副官 藤田 尚徳

在京各廳長殿

「コレラ」豫防注射ノ件

在京諸官衙勤務軍人軍屬及其ノ家族ニシテ「コレラ」豫防注射ヲ希望スル者ニ對シ左記ニ據リ特ニ注射ノ依頼ニ應スル旨海軍軍醫學校ヨリ通知アリタリ

記

一、注射場所 東京市施療病院外來診察所

二、注射日時

第一回 大正十一年十月 六日(金曜)自午後一時

第二回 第一回注射ノ際指定ス

三、注射ハ每一人二回ニ行フヲ要ス

四、注射ヲ受クルニハ各自必ス豫防接種票(別ニ官房ヨリ持參セラルヘシ)

海軍公報 第二千九百九十八號 大正十一年十月四日

## ○辭令

海軍大學校事務囑託 關根 藤太郎

海軍大學校化學教授助手囑託 藤村 鐵次郎

海軍兵學校劍術教員囑託 三谷 復太郎

海軍兵學校理化學教授助手囑託 米 元 要

海軍兵學校理化學教授助手囑託 福 島 啓

海軍軍醫學校海軍衛生試驗法教授助手囑託 島田 爲藏

海軍軍醫學校 X 光線放射術教授助手囑託 相澤 豊吉

海軍軍醫學校臨床診斷法及各種療法教授助手囑託 木村 峯松

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

自今報酬月額七拾五圓ヲ給ス

九五九

0328

海軍軍醫學校海軍防疫學教授助手囑託

松下 庶

自今報酬月額四拾七圓ヲ給ス(以上ハ海軍教育本部)

兼造船監督助手ヲ免シ兼海軍艦型試驗所附ヲ命ス

(海軍省)

艦船所在

指定ヲ受ケル

十月四日午前十時開

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
 球磨、木曾、大井、多摩、口天龍、口矢矧、神崎、若宮、  
 阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、樺名、朝日、三笠、  
 鳳翔、長良、滿州、明石、口秋、薄、葛、口竹、樞、梨、  
 樞、口梯、榆、栗、梅、口菱、嶽、葦、口如月、神風、  
 初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、澤風、  
 沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、口太刀風、口秋風、  
 灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、  
 疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潛二九、口潛二八、  
 口潛三〇、口潛三五、口潛三四、口潛三六、口潛三九、  
 口潛三八、口潛九、口潛八、口潛一四、口潛一五、口潛四〇、  
 口潛四一、口潛四六、口潛五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
 尻矢、關東、膠州、洲埼、

【石川島】 砲

【浦賀】 五十鈴

【伊東】 北上

【大湊】 口潛二六、口潛二五、

【函館】 樺

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、

駒橋、千歲、口菊月、長月、水無月、菊、葵、藤、

口潛一〇、口潛一一、口潛一二、口潛一三、口潛一六、

口潛一七、口潛二二、口潛一九、口潛二〇、口潛二七、

口潛三二、口潛二四、口潛三七、口潛四四、口潛五一、大和、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

口潛三三、口潛二五、口潛二八、口潛三一、口潛三二、

【西郷】	湖、子日
【鎮海】	筑摩
【元山】	日向
【木浦】	日楠
【海州色】	楓
【鎮南浦】	桂
【旅順】	巨浦波、綾波、磯波
【南洋群島】	勝力、松江
【浦鹽】	口春日、日進、巨海風、山風、榎、檜
【亞港】	千早
【泥港】	夕暮、鞍馬丸
【尼港】	巨夕立、白露
【巨港】	巨樗、楨
【九江】	新高
【漢口】	宇治
【宜昌】	巨對馬、嵯峨
【長沙】	伏見
【重慶】	岡田
【タラカン】	鳥羽
【フミノシト】	佐多
【航海中】	巨淺間、磐手、出雲

能登呂(九月二十五日「タラカン」發徳山へ)  
八雲(九月三十日「オゼルナマ」發小樽へ)

海軍公報 第二千九百九十八號 大正十一年十月四日

野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)  
安宅(一日大阪發佐世保へ)  
武藏(二日川内發横須賀へ)  
三日月(一日泥港發尼港へ)  
神威(二日紐育發「ノロフォーク」へ)  
桑(三日大湊發小樽へ)  
梅(三日木浦發海州色へ)  
青島(三日吳發徳山へ)  
第十八小野丸(三日小樽發大湊へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

軍艦筑摩宛

十月 九 日迄到著見込ノモノハ 鎮 海

同 二十一日迄 同 元 山

其ノ後ハ 鎮 海

軍艦鹿島宛

十月 五 日迄到著見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 新 舞 鶴

第一潜水隊司令部、矢矧、韓崎、第十六潜水隊(第三十五潜水隊)宛

十月 七日 日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
同 十日迄 同 千葉縣館山  
同 十四日迄 同 大阪府下堺  
同 十七日迄 同 廣島縣 鞆  
第三十四潜水艦、第三十六潜水艦宛  
十月十日迄到著見込ノモノハ 第一潜水戦隊司令部  
ニ同シ  
其ノ後ハ 吳

驅逐艦桑宛  
十月 七日 日迄到著見込ノモノハ 新舞鶴  
其ノ後ハ 大湊

○軍艦八雲行動豫定  
軍艦八雲ハ九月三十日「オゼルナヤ」發小樽函館ヲ經テ十月九日横須賀軍港歸著ノ豫定

○新高殉難者遺骨ノ件  
野島ニテ内地ニ後送セル以後ニ收容セル新高殉難者ノ遺骨ハ左記ニ依リ内地後送ノ豫定

- (一) 岩淵機關大尉、朝倉通譯ノ分十月九日八雲ニテ横須賀軍港著
- (二) 木村機關少尉外四十二名ノ分十月五日小樽ニテ八雲ヨリ驅逐艦桑ニ移載ノ上桑ニテ舞鶴ニ輸送ス  
(舞鶴著期日未定)

○滯在地變更  
海軍少尉齋藤誠治ハ吳ヨリ横須賀へ滯在地變更ノ儀九月二十九日認許セラレタリ

○虎列刺發生報 (十月三日)  
(内務省衛生局)

東京府  
東京市四谷區南伊賀町二、一名。本所區、中ノ郷元町一名。芝區田村町一八、一名何レモ二日疑似症發生  
下谷區龍泉寺町二四、一名二日真症ト決定。麻布區竹谷町一、一名。京橋區南小田原町二ノ三、一名。深川區西元町八、一名。四谷區南伊賀町三八、一名。京橋區本挽町九ノ四、一名。北豐島郡南千住町三輪二二八、一名。本所區大平町二ノ九四、一名。本所區綠町二ノ一〇、一名。深川區入船町一、一名。北豐島郡南千住町千住南五六三、一名。牛込區早稻田鶴卷二八六、一名。深川區八名川町三二、一名。北豐島郡西巢鴨町巢鴨二八、一名。深川區富川町三一、一名何レモ三日真症ト決定  
神奈川縣  
三浦郡長井村五一六〇、一名三日疑似症發生  
千葉縣  
二日午前十時迄ニ海上郡本銚子町八名。銚子町一名。高神村一名。香取郡佐原町十三名。豊里村一名。久賀村一名。安房郡七浦村二名。白濱村七名。和田町一名。天津町一名。山武郡片貝村一名何レモ疑似症發生、夷隅郡興津町一名。豊濱村一名何レモ二日真症ト決定

0331

更ニ海上郡本銚子町七名。香取郡佐原町四名。海上郡  
富浦村一名。安房郡白濱村四名。天津町一名。夷隈郡豊  
濱村一名。興津村一名。何レモ三日疑似症發生外ニ既  
報疑似症十名三日眞症ト決定  
佐賀縣  
二日小城郡北多久村ニ眞症二名發生昨報ノ保菌者一名  
二日眞症ト決定ス  
静岡縣  
東京市京橋區木挽町一ノ一住者一名一日午前六時五  
分新橋驛發下リ列車ニ依リ湯河原ニ至リ天野屋旅館ニ  
テ飲食後吐瀉シ午後五時自働車ニテ田方郡伊豆山相模  
屋旅館ニ著二日死亡檢診ノ結果三日疑似症ト決定  
茨城縣  
昨報中鹿島郡東下村ニ發生セル疑似症二名ノ内一名及  
那賀郡港町ニ發生ノ疑似症二名ハ三日眞症ト決定

0332

# 海軍公報

第二千九百九十九號

海軍大臣官房

大正十一年十月五日(木)

## ○辭令

海軍少佐 中村 藤藏  
 第一部勤務兼第六部勤務ヲ命ス  
 海軍機關少佐 草川 浩  
 第五部勤務ヲ命ス(以上諸海軍艦政本部)

## ○艦船所在

指定ヲ要セス

○十月五日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
 口球磨、木曾、大井、多摩、口天龍、口矢矧、神崎、若宮、  
 阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、三笠、  
 鳳翔、長良、滿州、明石、口萩、薄、葛、口竹、纏、梨、  
 横、口梯、榆、栗、梅、口菱、嶽、葦、口如月、神風、  
 初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、澤風、  
 沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、口太刀風、口秋風、  
 灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、  
 疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潜二九、潜二八、  
 潜三〇、口潜三五、潜三四、潜三六、口潜三九、

海軍公報 第二千九百九十九號 大正十一年十月五日

潜三八、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、潜四〇、  
 潜四一、潜四六、潜五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
 尻矢、關東、膠州、洲崎、武藏

【石川島】 五十鈴

【浦賀】 口潜二六、潜二五、

【大湊】 口潜二六、潜二五、

【函館】 榑

【小樽】 桑

【吳】 土佐、扶桑、攝津、鹿島、香取、伊吹、  
 駒橋、千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、  
 菊英、藤、口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三、  
 潜一六、潜一七、口潜二三、潜一九、潜二〇、  
 口潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、潜五一、  
 大和、劍崎、鶴見

【大阪】 卯月、驅一六、石廊

【神戸】 鬼怒、潜四七、潜五七

【多度津】 彌二

【徳山】 青島

【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
 敷島、須磨、常磐、安宅、最上、淀、口榑、柏、松、  
 杉、口檜、櫻、桃、柳、口蓼、蓮、蓬、口白雲、薇、

0333



野分、松風、口潜二一、潜一八、口潜三三、潜三二、  
潜三一、潜四五、潜六二、口鯨、鶉、雲雀、鶴、知床、  
襟裳、室戸

【長崎】 願一

【馬公】 利根、口櫻、橘、樺、桐、口潜四三、  
潜四二、高崎

【新舞鶴】 吾妻、平戸、口若葉、朝風、口時津風、  
磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、水七二、  
水七四、水七五、大泊

【西郷】 湖、子日

【鎮海】 筑摩

【元山】 日向

【海州邑】 梅

【鎮南浦】 桂

【旅順】 口浦波、綾波

【南洋群島】 勝力、松江

【浦鹽】 口春日、日進、口海風、山風、榎、檜

【亞港】 千早

【泥港】 鞍馬丸

【尼港】 口夕立、白露、三日月、夕暮

【八港】 口櫻、楨

【九江】 新高

【漢口】 宇治

【宜昌】 口對馬、嵯峨  
伏見

【長沙】 阴田

【重慶】 鳥羽

【タラカン】 佐多

【アモイ】 淺間、磐手、出雲

【フーフオーグ】 神威

【航海中】

能登呂(九月二十五日「タラカン」發徳山へ)

八雲(九月三十日「オセルナヤ」發小樽へ)

野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)

第十八小野丸(三日小樽發大湊へ)

北上(四日伊東發横須賀へ)

口楠(四日木浦發仁川へ)

磯波(四日旅順發海洋島へ)

楓(四日海州邑發鎮南浦へ)

野島(四日舞鶴發吳へ)

○ 雜 款

○英國軍艦寄港

英國軍艦「マグノリア」(Magnolia)(スループ)本月  
十日ヨリ十二日迄嚴原寄港、同十四日神戸入港二十五  
日香港ニ向ケ出港ノ豫定

○虎列刺發生報 (十月四日) (内務省衛生局)

東京府

赤坂區青山南町五ノ五、淺草區新福井町四、豊多摩郡澁谷町下澁谷二二七、各一名。南葛飾郡大島町二ノ八九、一名三日何レモ眞症ト決定

北豊島郡高田町高田一四八二、淺草區西三筋町六四、日本橋區米澤町二ノ一、本所區吉田町八、各一名三日何レモ疑似症ト決定

荏原郡平塚村中延一〇六四、淺草區千束町二ノ三六二、京橋區具足町一二、本郷區春木町三ノ一七、芝區愛宕下町三ノ二、牛込區富久町一四、深川區靈岸町一二四、

淺草區森田町一、深川區東扇橋町三二、小石川區水道端町一ノ六九、各一名。京橋區本挽町九ノ四、二名何レモ四日眞症ト決定

神奈川縣

三浦郡長井村ニ三日疑似症一名發生、既報疑似症一名三日眞症ト決定

横濱市花咲町二丁目ニ四日疑似症一名發生

千葉縣

海上郡西銚子町一名、本銚子町九名、銚子町二名、高神村四名、船木村九名、飯岡町二名、富浦村二名、香取郡佐原町一名、安房郡勝山町一名、七浦村一名、白濱村二名、湊村一名、和田町一名、東葛飾郡松戸町一名何レモ三日疑似症發生

茨城縣

鹿島郡東下村ニ三日眞症、疑似症各一名發生、稻敷郡本新島村ニ三日二名、那賀郡湊町ニ四日一名疑似症發生、湊町既報疑似症一名四日眞症ト決定

警報公報 第二千九百九十九號 大正十一年十月五日 (部内限三頁) 九六七

# 海軍公報 第三千號

大正十一年十月六日(金)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三三九三號

大正十一年十月六日

海軍省副官 藤田尙徳

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ  
右通牒ス

記

許可番號	第八〇號	漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎
住所	兵庫縣神戸市葺合熊内町四十六番屋敷 ノ一	許可期間	許可ノ日ヨリ壹箇年
氏名又ハ名稱	第一水産株式會社	制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
船名	第一 九	許可年月日	大正十一年九月三十日
操業區域	東海及黃海	○辭令	
(各通) 海軍軍醫少佐 川口善一 同 佐藤民三郎 海軍豫備員志願者體格検査委員ヲ命ス 海軍軍醫少佐 梶塚隆策 海軍軍醫學生、藥劑學生、主計學生及海軍造船學生、 造機學生、造兵學生、同候補者並生徒志願者身體検査 委員ヲ命ス(以上對海軍省)			

海軍公報 第三千號 大正十一年十月六日

九六九

0336

海軍書記 山崎 健藏  
總務部第三課附ヲ免シ第三部附ヲ命ス  
海軍書記 倉俣 吉治  
第三部附ヲ免シ總務部第三課附ヲ命ス(以上海軍  
艦政本部)

海軍技手 逸見 昭房  
兼製造部附ヲ命ス(海軍造兵廠)

海軍技手 水野 莊太郎  
兼研究部附ヲ命ス(海軍造兵廠)

海軍主計少尉 新井 實

第一驅逐艦艇裝員ニ要スル經費支拂ノ爲メ臨時資金  
前渡官吏ヲ命ス(海軍省經理局支出官)

○艦船所在

▲印ハハカリ  
指定ヲ受ケス

○十月六日午前十時朝

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
口球磨、多摩、大井、木曾、口天龍、口矢矧、韓崎、若宮、  
阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、三笠、  
鳳翔、長良、北上、滿州、口秋津、高松、口樫、梶、梨、  
竹、口梯、榆、栗、梅、口菱、磯、葦、口如月、神風、  
初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、淨風、  
沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、口太刀風、口秋風、  
灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、

疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潛二九、潛二八、  
潛三〇、口潛三五、潛三四、潛三六、口潛三九、  
潛三八、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、潛四〇、  
潛四一、潛四六、潛五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
尻矢、關東、洲崎、武藏

【石川島】 望  
五十鈴

【浦賀】 樺、口潛二六、潛二五、  
吳、土佐、扶桑、攝津、香取、伊吹、駒橋、  
千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、  
藤、口顯二、口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛一三、  
口潛一六、口潛一七、口潛二二、潛一九、潛二〇、  
口潛二七、潛二二、潛二四、潛三七、潛四四、潛五一、  
大和、劍崎、鶴見

【大阪】 驅一六、石廊  
鬼怒、潛四七、潛五七

【神戶】 青島  
【德山】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
敷島、須磨、常磐、安宅、最上、淀、口神、柏、松、  
杉、口檜、櫻、桃、柳、口蓼、蓮、蓬、口白雪、檜、  
野分、松風、口潛二一、潛一八、口潛三三、潛三二、  
潛三一、潛四五、潛六二、口鷲、鶴、雲雀、鶴、知床、  
模袋

【佐世保】 驅一  
利根、口櫻、橘、樺、桐、口潛四三、

【長崎】 驅一  
利根、口櫻、橘、樺、桐、口潛四三、

【馬公】 驅一  
利根、口櫻、橘、樺、桐、口潛四三、

0337

潜四二、高崎

【新舞鶴】 吾妻△、平戸△、口若葉、朝風、潮、子日、  
 口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、  
 水七二、水七四、水七五、大泊△

【鎮海】 筑摩  
 口楠

【鎮南浦】 楓、梅  
 綾波

【旅順】 口浦波

【大洋群島】 勝力、松江  
 口春日、日進、口海風、山風、榎、檜

【亞港】 千早  
 鞍馬丸

【泥港】 口夕立、白露、三日月、夕暮  
 口櫻、楓

【九江】 新高  
 宇治

【漢口】 口對馬、嵯峨  
 伏見

【宜昌】 陰田

【長沙】 鳥羽

【重慶】 佐多

【タラカン】 口淺間、磐手、出雲  
 神威

【フエノアイレス】  
 【ノーフォーク】

海軍公報 第三千號 大正十一年十月六日

〔航海中〕

能登呂(九月二十五日「タラカン」發徳山へ)  
 野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)  
 磯波(四日旅順發海洋島へ)  
 野島(四日舞鶴發吳へ)  
 鹿島(五日吳發舞鶴へ)  
 八雲(五日小樽發橫須賀へ)  
 明石(五日橫須賀發吳へ)  
 日向(五日元山發釜山へ)  
 桂(五日鎮南浦發仁川へ)  
 卯月(五日神戸發高松へ)  
 桑(五日小樽發舞鶴へ)  
 膠州(五日橫須賀發大阪へ)  
 室戸(五日佐世保發橫須賀へ)  
 第十八小野丸(五日大湊發小樽へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更  
 第二十五驅逐隊司令ハ昨五日司令驅逐艦ヲ竹ヨリ樫ニ  
 變更セリ

○郵便物發送先變更  
 第一艦隊司令部、長門、陸奥、伊勢、第二艦隊司令部、

九七一

0338

金剛、霧島、比叡、第三戰隊司令部、球磨、多摩、大井、木曾、第一水雷戰隊司令部、天龍、第二十五驅逐隊(樺、竹、梨、榎)、第二十六驅逐隊(柿、榆、栗、梅)、第十五驅逐隊(萩、薄、葛)、第二十七驅逐隊(菱、蔭、華)、第一潛水戰隊司令部、矢矧、韓崎、第四潛水隊(第二十八、二十九、三十潛水艦)、第十六潛水隊(第三十四、三十五、三十六潛水艦)、第五潛水隊(第三十八、三十九潛水艦)阿蘇、若宮、第八驅逐隊(如月、有明、吹雪、神風、初霜、響)宛

自今 横 須 賀

○佛國軍艦寄港  
佛國軍艦「アルタイル」(Altair)本月七日上海ヨリ横濱入港ノ豫定

○虎列刺發生報 (十月五日)  
東京府 (内務省衛生局)

京橋區越前堀一ノ四、本所區南二葉町三五、淺草區馬道町一ノ四、下谷區入谷町四〇〇、豊多摩郡千駄ヶ谷町千駄ヶ谷、各一名四日何レモ眞症發生。本所區本所病院、麻布區竹谷町一、芝區愛宕下町三ノ二、淺草區馬道町七ノ一、日本橋區品川町一八、各一名、四日疑似症發生。本所區石原町一一、一名、小石川區竹早町七四、二名、淺草區新福井町四、一名何レモ四日保菌者發見

本所區中ノ郷元町七、二名。淺草區地方今戸町三一、馬道八ノ一、千束町二ノ一〇一、京橋區南小田原町二ノ三、神田區三河町三六、北豊島郡南千住町地方橋場二三二、各一名五日何レモ眞症發生

神奈川縣

既報疑似症中眞症ト決定セルモノ二名、累計眞症三名。

千葉縣

海上郡本銚子町、安房郡勝山町、七浦村、白濱村、興津町各一名、湊村七名、千葉市、安房郡千倉町、鴨川町各一名何レモ五日疑似症發生

安房郡館山町六名、印旛郡木下町一名五日何レモ保菌者發見

既報疑似症中七名眞症ト決定

茨城縣

鹿島郡東下町一名、稻敷郡大宮村二名、那賀郡勝田村一名五日何レモ疑似症發生

東茨城郡磯濱町一名五日眞症發生、那賀郡湊町二名五日保菌者發見

既報疑似症中四名眞症ト決定

佐賀縣

累計 眞症九名、疑似症五名、保菌者二名

0339

小城郡北多久村ニ四日眞症二名發生  
累計 眞症一六名、保菌者三名

○「ペスト」發生報(十月五日  
内務省衛生局)  
本月一日報ノ大阪市南區西賑町ノ疑似症ハ四日眞症ト  
決定、同患者家族一名三日疑似症發生、同區瓦屋町三  
番丁一名四日疑似症發生

大阪府 累計  
眞症 一五名  
疑似症 六名  
有菌鼠 七頭

海軍公報 第三千號 大正十一年十月六日

(部内限二頁)

九七三

0340

# 海軍公報

第三千一號

海軍大臣官房

大正十一年十月七日(土)

## ○艦船所在

印(ハ)ホ(フ) 指定ヲ要セス

○十月七日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
 口球磨、多摩、大井、木曾、口天龍、口矢矧、韓崎、若宮、  
 阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、橋名、朝日、三笠、  
 鳳翔、長良、北上、滿州、口萩、薄、葛、口樞、榎、梨、  
 竹、口梯、楡、栗、梅、口菱、傲、華、口如月、神風、  
 初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、澤風、  
 沖風、矢風、口帆風、夕風、口沙風、口太刀風、口秋風、  
 灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、  
 疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潜二九、潜二八、  
 潜三〇、口潜三五、潜三四、潜三六、口潜三九、  
 潜三八、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、潜四〇、  
 潜四一、潜四六、潜五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
 尻矢、關東、洲崎、武藏

海軍公報 第三千一號

大正十一年十月七日

【大 湊】 樺、口潜二六、潜二五、  
 【小 樽】 第十八小野丸

【石川島】 鯨  
 【浦 賀】 五十鈴

【吳】 土佐、扶桑、攝津、香取、伊吹、駒橋、  
 千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、  
 藤、口驅二、口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三、  
 潜一六、口潜一七、口潜二三、潜一九、潜二〇、  
 口潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、潜五一、  
 大和、劍崎、鶴見、  
 【阪】 驅一六、石廊  
 【神 戶】 鬼怒、潜四七、潜五七  
 【高 松】 卯月  
 【青 島】 青島  
 【德 山】 青島  
 【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
 敷島、須磨、常磐、安宅、最上、淀、口榎、柏、松、  
 杉、口檜、櫻、桃、柳、口蓼、蓮、落、口白雲、掖、  
 野分、松風、口潜二二、潜一八、口潜三三、潜三二、  
 潜三一、潜四五、潜六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、  
 襟裳  
 【長 崎】 驅一  
 【馬 公】 利根、口櫻、橘、樺、桐、口潜四三、  
 潜四二  
 【新舞鶴】 吾妻、口平戶、口若葉、朝風、潮、子日、  
 口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、

九七五

0341



水七二、水七四、水七五、大泊▲

【鎮海】日向、筑摩

【仁川】桂

【鎮南浦】梅

【旅順】綾波

【大連】浦波

【南洋群島】勝力、松江

【浦鹽】口春日、日進

【サマルガ】千早

【亞港】白露

【尼港】口夕立、三日月、夕暮

【ベ港】口櫻、楨

【九江】新高

【漢口】字治

【宜昌】口對馬、嵯峨

【長沙】伏見

【重慶】岡田

【タラカン】鳥羽

【アモイレス】佐多

▷淺間、磐手、出雲

【航海中】

能登呂(九月二十五日「タラカン」發徳山へ)  
野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)

磯波(四日旅順發海洋島へ)

野島(四日舞鶴發吳へ)

鹿島(五日吳發舞鶴へ)

八雲(五日小樽發横須賀へ)

明石(五日横須賀發吳へ)

桑(五日小樽發舞鶴へ)

膠州(五日横須賀發大阪へ)

室戸(五日佐世保發横須賀へ)

神威(五日「ノーフオーク」發「ロボス」へ)

楠(六日仁川發鎮南浦へ)

口海風、山風、榎、檜(六日浦潮發「ボセツト」灣へ)

楓(六日鎮南浦發海州邑へ)

高崎(六日馬公發高雄へ)

鞍馬丸(六日亞港發間宮海峽へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦霧島、比叡宛

十月十一日以後

佐世保

軍艦伊勢宛

十月十二日以後

吳

0342

○事務所撤去

舞鶴海軍工廠内ニ設置中ノ驅逐艦波風儀裝具事務所ハ  
本月五日限り撤去セリ(波風驅逐艦長)

○佛艦入港豫定變更

佛國軍艦「アルタイル」(Altair) 横濱入港豫定本月七  
日ヲ同十七日ニ變更セリ

○虎列刺發生報 (十月六日)

東京府

(内務省衛生局)

赤坂區青山北町四ノ六〇、小石川區水道端一ノ一四、  
淺草區龜岡町三ノ四三、本所區太平町一ノ一、日本  
橋區檜物町一八、本銀町一ノ九、小石川區竹早町七四、  
淺草區松葉町四二、京橋區明石町五番地先各一名五  
日眞症發生。同日深川區富川町三二疑似症一名、小  
石川區竹早町修養社内保菌者七名發生  
累計 眞症七四名、疑似症七名、保菌者二一名、  
計 九二名

神奈川縣

六日横濱市時田町四七〇疑似症一名發生

累計 眞症三名、疑似症一名、計四名

千葉縣

海上郡本銚子町二〇名、高神村六名、飯岡町二名、夷  
岡郡豊濱村一名、安房郡和田町一名、鴨川町二名、

香取郡豐浦村一名、海上郡西銚子町一名、富浦村二  
名、安房郡天津町一名、勝山町一名、館山町三名、  
匝邊郡八日市場町一名何レモ五日疑似症發生

印旛郡豐住村一名五日眞症發生

海上郡西銚子町一名、銚子町二名、飯岡町一名、安  
房郡館山町一〇名、勝山町四名、和田町一名、興津  
町一名、香取郡佐原町一名、印旛郡木下町一名何レ  
モ五日保菌者發見

既報疑似症中二〇名眞症ト決定

累計 眞症四八名、疑似症二〇九名、保菌者二九名

計 二八六名

茨城縣

那珂郡平磯町三名、多賀郡大津町一名、稻敷郡十倉島  
村一名、東茨城郡磯濱村二名何レモ五日疑似症發生。

累計眞症九名、疑似症一二名、保菌者二名、計二三名

靜岡縣

四方郡伊東町一名、志田郡焼津町三名何レモ五日疑  
似症發生

既報疑似症中一名眞症ト決定

累計 眞症一名、疑似症四名、計五名

福島縣

石城郡江名村、同郡小名濱各一名五日疑似症發生、

累計二名

佐賀縣

既報保菌者一名五日發病

累計真症一七名、保菌者二名、計一九名

○「ペスト」發生報(十月六日 内務省衛生局)

本月四日大阪市南區東照町一名疑似症發生、既報本月一日發生ノ同町疑似症ハ五日真症ト決定

大阪府	累計	真症	一六名
		疑似症	六名
		有菌鼠	七頭

(附録四頁、同三頁、部内限一頁)

0344

# 海軍公報 附錄

大正十一年十月七日(土)  
海軍大臣官房

## ○通牒

經豫第四五一號

大正十一年十月五日

海軍省經理局長 志 佐 勝

左記令達等ハ之ヲ廢止ス

記

- 一 明治二十三年三月會第二五六號
- 一 同 二十六年七月經一甲第三一四號
- 一 同 二十七年八月經一第一六七五號
- 一 同 二十八年十二月經三第六六一號
- 一 同 三十年六月經理局長通知
- 一 同 三十一年五月經二甲第一二六號
- 一 同 三十一年十一月經三第八七七號
- 一 同 三十一年八月經二乙第一二八號
- 一 同 三十二年四月經一第六五〇號
- 一 同 三十三年五月經一第一二一九號
- 一 同 三十三年十一月經一第二六二八號

海軍會計法規  
類集上卷頁數

- 一九一
- 二五二
- 一六一
- 二八〇
- 一〇七ノ二
- 三〇三
- 二八〇
- 三〇三
- 三〇三
- 一六二
- 二〇六

一 同 三十四年三月經一第五七四號	一〇八
一 同 三十五年八月經一第一五七〇號	一九四
一 同 三十六年八月經一第一二二六號	二九九
一 同 三十七年十月經一第四三〇〇號	一九五
一 同 四十二年一月經四第二四〇號	二八一
一 同 四十二年三月經三第二五五號	三七一ノ五
一 同 四十二年十一月經一豫第五一九號ノ三	三七五
一 同 四十四年四月經理局長電答	一五三
一 同 四十四年九月經一給第三八號ノ二	一四七ノ二
一 大正 四年三月經豫第一二七號	三六六
一 同 四年四月經豫第一五六號	二八二
一 同 四年九月經庶第九八號	三六七ノ三
一 同 九年六月經豫第三三七號	三六七ノ四

經豫第四五二號

大正十一年十月六日

海軍省經理局長 志 佐 勝

會計法、會計規則、海軍會計規程其ノ他ノ改正制定等  
ニ伴ヒ左記甲號令達等ハ自然消滅ス  
右爲念通牒ス

海軍公報 附錄





一	明治二十三年十一月	坤第二五七號	三七三
一	大正二十年三月	官房第一一〇二號	四一三
一	同 二年一月	經一豫第三六號	四二八
一	明治三十四年七月	達第九六號	四三二
一	同 三十五年五月	大藏省告示第二五號	六二五ノ一八
一	同 三十九年九月	同 第八六五號	六三五ノ二〇
一	大正二年六月	同 第九四號	六三五ノ二二
一	同 同	同 第九六號	六三五ノ二三
一	同 同	同 第一八五號	六三五ノ二四
一	同 同	同 第九五號	六三五ノ二五
一	明治三十九年六月	同 第八六九號	六三五ノ二六
一	大正二年六月	同 第九八號	六三五ノ二七
一	同 同	同 第九七號	六三五ノ二八
一	明治二十三年八月	大藏省訓令第一二二號	六三一
一	同 三十四年五月	大藏省令第六號	六九一
一	同 三十九年八月	勅令第二一一號	六九二
一	同 同	同 大藏省令第三七號	六九二

# 海軍公報 附錄

大正十一年十月七日(土)  
海軍大臣官房

## ○ 雜款

### ○ 圖書

去ル九月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

### 和漢書ノ部

#### 第一門 海陸軍事

太平洋海權論 海軍軍令部譯 大正十一 三九四三

小倉海軍技師歐米各國視察報告書 水路部編 大正十一 雜八四〇

海軍用語 四冊 海軍教育本部編 大正十一 雜八五四

航空術之部

航海術之部

潛航海術之部

運用術之部

#### 第二門 法律、政治、經濟、社會

中華民國法律草案理由譯文 (庫支那及南洋調査第五十四輯) 海軍總督官房調査課譯 大正十 雜八四九

第四編 親屬

第五編 繼承

改正刑事訴訟法詳解 草刈藤著 大正十一 三九一八

陸地測量部沿革誌 陸地測量部編 大正十一 雜八五一

航空條約及航空法 池田敬八編 大正十一 雜八五三

皇室 中心 日本改造論 倉辻白鶴編 大正十一 三九五二

二重政府と帷幄上奏 吉野作造著 大正十一 三九四六

續極東共和國まで 和泉良之助著 大正十一 三九四八

復興亞細亞の諸問題 大川周明著 大正十一 三九四九

旅費法規の研究 濱垣 恒著 大正十一 三九七四

社會政策と階級闘争 福田徳三著 大正十一、十九版 三九五三

社會運動と勞銀制度 福田徳三著 大正十一、八版 三九五四

社會と國家 高田保馬著 大正十一 三三七七

#### 第三門 歴史、傳記

日本文化史 第八卷 室町時代 魚澄總五郎著 大正十一 三七五四

海戰ノ危機 海軍軍令部譯 大正十 三九四三

大戦中ノ獨大海艦隊 海軍軍令部譯 大正十一 三九四一

ジョンフル元帥 日佛協會編 大正十一 三九五二

海軍公報 附錄

0349



第四門 地誌

汕頭帝國領事館管内事情 (南支那及南洋調査第五十九輯)  
臺灣總督官房調査課編 大正十一 雜入五〇

第五門 教育、語學

國家及國民ノ體育指導 隨軍步兵少佐岡千賀松著  
大正十一

改エスヘラント全程 千布利雄著 大正十  
三

第八門 産業

滿蒙に於ける各國の合辦事業 第一輯  
南滿州鐵道株式會社編

滿州農家の生活と消費 南滿州鐵道株式會社編

西比利の農牧林業 南滿州鐵道株式會社編

洋書ノ部

I. NAVAL & MILITARY.

Angle, G. D. Airplane encyclopedia. Dayton  
1921. 5377

Boileve, M. Application de la résistance des  
matériaux au calcul des avions. Paris  
1921. 994

Bateau, A. Théorie des hélices propulsives  
marines et aériennes et des avions en vol  
rectiligne. Paris 1920. 995

II. LAW & POLITICS.

Hyde, C. C. International law chiefly as inter-  
preted and applied by the United States.  
Boston 1922. 2 vols. 5383

Mathews, J. M. The conduct of American  
foreign relations. N. Y. 1922. 5378

Mérignac, A. et E. Lémonon. Le droit des  
gens et la guerre de 1914-1918. Paris  
1921. 2 vols. 996

III. HISTORY.

Bülow, B. W. v. Die ersten Stundenschläge  
des Weltkrieges. Berlin 1922. 1227

Dirt, P. Bayerische Dokumente zum Kriegs-  
bruch und zum Versailler Schuldspruch.  
München 1922. 1226

Hierl, Constanthin. Der Weltkrieg in Umrissen.  
Scharlotenburg 1922. 1229

Kuhl, Hermann. Der Weltkrieg im Urteil  
unserer Feinde. Berlin 1922. 1228

Jagow, Kurt. Daten des Weltkrieges. Leipzig  
1922. 1225

Lützow, F., Korvettenkapitän. Englands Lazar-  
ettschiffsmiszbrauch während des Weltkr-  
iges. Berlin 1921. 1224

Untersseebootkrieg und Hunger-

0350

brocade. Berlin. 1921. 1223

VI. MEDICINE.

History of the great war based on official documents. Medical services. Diseases of the war. London 1922. Vol. I. 5379

U. S. War Department. Defects founded in drafted men. Statistical information compiled from the drafts records. Washington 1920. 5380

VIII. INDUSTRY.

Delaisi, Francis. Oil. Its influence on politics. Translated from the French by C. L. Leese. London 1922. 5381

0351

# 海軍公報 第三千二號

大正十一年十月九日(月)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三四一七號

大正十一年十月九日

海軍省副官 藤田 尙德

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ  
右通牒ス

記

許可番號	第八一號
住所	福岡縣福岡市海岸通四丁目二番地
氏名又ハ名稱	博多トロール株式會社
船名	第六博多丸
操業區域	東海及黃海

漁獲物陸揚港

博多、下關、長崎

許可期間

許可ノ日ヨリ拾箇年

制限又ハ條件

一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ  
一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

許可年月日

大正十一年十月四日

## ○辭令

海軍艦政本部附海軍書記 山崎 健藏

兼造船造兵監督書記ヲ免ス(對海軍省)

歸朝ヲ命ス(對海軍省) 海軍技手 濱村 尊義

海軍軍醫大尉 齋 掛 諒

海軍豫備生徒志願者體格檢査委員ヲ命ス(對海軍省)

## ○艦船所在

▲印(ハロー)ヲ付シテ  
指定ヲ製セス

海軍公報 第三千二號 大正十一年十月九日

九七九

0352

○十月九日午前十時開

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、口金剛、霧島、比叡、  
 卜球磨、多摩、大井、木曾、卜天龍、卜矢矧、韓崎、若宮、  
 阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、椿名、朝日、三笠、  
 鳳翔、長良、北上、滿州、口萩、薄、葛、口樞、榎、梨、  
 竹、口梯、楡、栗、梅、口菱、萩、葦、口如月、神風、  
 初霜、響、吹雪、有明、口野風、沼風、口峯風、澤風、  
 沖風、矢風、口帆風、夕風、沙風、太刀風、口秋風、  
 灘風、羽風、島風、口春風、初春、初雪、口追風、  
 疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、口潛二九、潛二八、  
 潛三〇、口潛三五、潛三四、潛三六、口潛三九、  
 潛三八、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、潛四〇、  
 潛四一、潛四六、潛五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
 尻矢、關東、洲崎、武藏

【石川島】 望

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 椿、口潛二六、潛二五、  
 【吳】 土佐、扶桑、攝津、香取、伊吹、駒橋、  
 千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、  
 藤、彌二、卯月、口潛一〇、潛一一、潛一二、  
 口潛一三、潛一六、潛一七、口潛二三、潛一九、  
 潛二〇、口潛二七、潛二二、潛二四、潛三七、潛四四、  
 潛五一、大和、劍崎、鶴見、野島

【大阪】 驅一六、石廊、膠州

【神戶】 鬼怒、潛四七、潛五七

【德山】 能登呂

【佐世保】 由良、名取、龍田、肥前、鞍馬、生駒、  
 敷島、須磨、常磐、安宅、最上、淀、口榎、柏、松、  
 杉、口檜、櫻、桃、口蓼、蓮、蓬、口白雪、笹、  
 野分、松風、口潛二一、潛一八、口潛三三、潛三一、  
 潛三一、潛四五、潛六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、  
 襟裳

【神浦】 柳

【長崎】 驅一

【馬公】 口櫻、橘、樺、桐、口潛四三、潛四二

【新舞鶴】 吾妻、平戸、口若葉、朝風、湖、子日、  
 口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、桑、口水七三、  
 水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮海】 日向、筑摩

【木浦】 楓

【海州邑】 梅

【鎮南浦】 綾波

【旅順】 口浦波、磯波

【南洋群島】 勝力、松江

【浦鹽】 口春日、日進、口海風、山風、榎、檜

【亞港】 白鷺

【尼港】 口夕立、三日月、夕暮

【大港】 口樺、楨

0353

【九】新高  
 【漢】字治  
 【宜】對馬、饅峨  
 【長】伏見  
 【重】羽田  
 【馬】鳥羽  
 【タラカン】利根  
 【アエノアイレス】佐多  
 浅間、磐手、出雲

【航海中】

野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)  
 鹿島(五日吳發舞鶴へ)  
 八雲(五日小樽發横須賀へ)  
 明石(五日横須賀發吳へ)  
 室戸(五日佐世保發横須賀へ)  
 神威(五日「ノロンオトク」發「ロボス」へ)  
 高崎(六日馬公發高雄へ)  
 鞍馬丸(六日亞港發間宮海峽へ)  
 千早(八日「インベラトルスカヤ」發「サマルガ」へ)  
 日桶(八日鎮南浦發鎮海へ)  
 桂(八日木浦發鎮海へ)  
 青島(八日徳山發佐世保へ)  
 第十八小野丸(八日小樽發亞港へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦木曾宛  
 十月十一日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
 同 十六日迄 同 二見賀  
 其ノ後ハ 新舞鶴

軍艦安宅宛

自今 上海日本郵便局氣付

第一水雷戰隊司令部、天龍、第十五驅逐隊(萩、薄、葛)宛  
 十月十一日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
 同 十五日迄 同 兵庫縣飾磨  
 其ノ後ハ 吳

第二十五驅逐隊(竹、樞、梨、樅)、第二十七驅逐隊(菱、蕨)宛  
 十月十一日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
 其ノ後ハ 佐世保

第二十六驅逐隊(柿、楡、栗、梅)宛  
 十月十一日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
 同 十五日迄 同 兵庫縣飾磨  
 其ノ後ハ 佐世保

0354

驅逐艦藤苑(八八)小濱(海軍省) 吳

○行動豫定變更(九月二十七日) 第二十二驅逐隊行動豫定中各欄内龍岩浦ヲ鏡南浦ニ變更セリ

○海外出張 和蘭國海牙ニ於テ開催ノ戰時法規改正委員會ニ於ケル帝國委員隨員ヲ命セラル海軍少佐和田秀穂ハ十月十三日、同海軍省參事官榎本重治ハ十月十二日孰レモ東京驛發、同十五日正午神戸出港ノ諏訪丸ニテ出發ノ豫定 國際聯盟、陸、海、空軍問題常設諮問委員會ニ於ケル帝國空軍代表者隨員被仰付タル海軍大尉可兒滿壽夫ハ十月十九日門司出港ノ諏訪丸ニテ渡佛ノ豫定

○電話架設

海軍省軍需局第一課長 青山 八六七番 海軍大佐 井上伊之吉 赤坂區青山南町五丁目 四五番地ノ三號

○虎列刺發生報(十月七、八日) 東京府 內務省衛生局

四谷區永住町三、日本橋區檜物町一八、京橋區北紺屋町八、南川町四二五、下谷區谷中真島町十五、本所區新小梅町二八、神田區永富町九、北豐島郡高田町雜司ヶ谷水久保、小石川區武島町十、芝區愛宕下三ノ一、淺草區松尾町二、同千束町二ノ四二三、荏原郡大崎町上大崎五八八二、赤坂區溜池町四、淺草區淺草町七一、南葛飾郡松江村一四一ノ四二、深川區廣島町二四八、小石川區大塚辻町、同區大塚坂下町一九四、日本橋區助數町二ノ二五、本所區相生町五ノ三〇、日本橋區本小田原町二六、本所區表町六四、同區大平町二ノ九四二各一名六日眞症發生。淺草區千束町二ノ五四、神田區和泉町一ノ一一二同日保菌者各一名。淺草區馬道町一ノ四九二疑似症一名發生。累計 眞症九名、疑似症八名、保菌者二三名、計 一二〇名

牛込區神樂町二ノ二二、神田區同朋町二二、淺草區橋場町一五一、京橋區松川町二、同築地三ノ六八、北豐島郡赤羽町、同西巢鴨町宮仲二四五〇、同高田町雜司ヶ谷二二、本所區大平町二ノ四三、本鄉區駒込千駄木町二〇七、日本橋區濱町二ノ二四、四谷區船町六一、同町六九、下谷區入谷町三〇七、小石川區音羽町五ノ七、日本橋區堀江町四ノ三三七日各一名眞症發生。本所區錦糸町驛構内ニ六日一名、南葛飾郡龜戸町柳島、荏原郡大井町二七日各一名疑似症發生。麻布區竹谷町一、深川區富川町三一、日本橋

0355

區本小田原町七、本郷區春木町三ノ一七ニ各一名保  
菌者發生

埼玉縣  
北足立郡吹上村五日疑似症一名發生

千葉縣  
六日安房郡白濱村ニ一名眞症發生。同千倉村、與津町、  
湊村、香取郡佐原町ニ各一名、安房郡鴨川村ニ二名、  
同勝山町ニ三名、夷隅郡豐濱村ニ三名疑似症、安房  
郡白濱村ニ一名、同勝山町ニ三名、香取郡佐原町ニ  
一名保菌者發生

茨城縣

六日多賀郡大津町、同豐浦村、久慈郡久慈町、鹿島  
郡波野村ニ各一名眞症。久慈郡久慈町ニ五名疑似症  
發生

佐賀縣

小城郡西多久村、同北多久村ニ各一名六日眞症發生  
累計眞症二名、疑似症十九名  
計 二二名

○「ペスト」發生報(十月七日  
內務省衛生局)

本月六日大阪市南區瓦屋町三番町ニ一名疑似症發生、  
外ニ本月五日南區西賑町ニ一頭、五日同瓦屋町三番町  
ニ四頭有菌鼠發見  
累計 眞症一六名、疑似症七名、有菌鼠一二頭

# 海軍公報

第三千三號

海軍大臣官房

大正十一年十月十日(火)

## ○令達

官房第一三〇五號ノ二  
本年四官房第一三〇五號中「技員」ノ次ニ「巡視長」  
ヲ加フ

大正十一年十月十日

海軍大臣男爵加藤友三郎

## ○通牒

教本第一二三四號

大正十一年十月十日

海軍教育本部副官

各鎮守府文庫兵備品會計官吏殿

艦船部隊其他各部軍事教育圖殿

書兵備品取扱主任  
海軍用語(機關術ノ部)改版ニ關スル件

今般達第百七十五號ヲ以テ海軍用語(機關術ノ部)中

改正發布相成候ニ就テハ閱覽ニ便スル爲既尙「用語」  
改版中ニ有之近日發送ノ遲ニ可相成候條御承知相成度  
右爲念通牒ス

經豫第四五四號

大正十一年十月十日

海軍省經理局長 志 佐 勝

在外國收入官吏ノ現金拂込方ニ關スル特例ノ件ニ付別  
紙ノ通大藏省主計局長ヨリ通牒有之候  
右通知ス

(別紙)

附發第六二號

在外國收入官吏ノ現金拂込方ニ關スル特例ニ付別紙甲  
號ノ如ク外務省ヨリ協議有之乙號ノ通回答致置候條貴  
省所管收入官吏ニシテ外國ニ於テ收入金ヲ取扱フ場合  
ハ右ノ例ニ準シ御取扱相成異存無之依命此段及御通牒  
候也

大正十一年十月四日

大藏省主計局長

海軍公報 第三千三號

大正十一年十月十日

九八五

0357



海軍省經理局長宛

(別紙甲號)

會普通第三八七號

大正十一年六月十九日

外務大臣官房會計課長

大藏省主計局長宛

收入官吏現金拂込ニ關スル件

從來本省所管在外公館收入官吏ノ領收シタル現金拂込方ニ關シテハ明治三十年勅令第五八號ニ依リ每三ヶ月一回拂込ト爲スコトヲ得、實際適當ナル取扱方ト認メラレタルカ今回會計法ノ改正ニ伴ヒ該規程廢止セラレタル結果本年度以來毎月現金拂込ヲ要スル次第ナル處之ヲ執務上ノ實狀ニ徴スルニ在外公館ハ收入ヲ目的トスル官廳ニ非サルヲ以テ其收入取扱額ハ甚々僅少ニシテ從來每三ヶ月一回拂込ノ場合ニ於テスラ收入皆無ノ公館少カラス之ヲ毎月拂込ニ改ムルニ於テハ皆無ノモノ愈々多キヲ加フルニ至ルヘク從令收入アルモ其ノ額ハ些少ナルヘシ又爲替取組ノ度數増加スルニ從ヒ取扱銀行ニ於テ徵セラルル手数料モ多少増加スルヲ免レヌ而シテ海外ヨリノ送金ニ當リテモ船便及經路等ノ關係ニヨリ數ヶ月分同時ニ到著スルノ場合モアリ又該拂込金ハ邦貨換算上遠算ナキヲ期スル爲一旦事務監理廳タル本省ヲ經由スル取扱ナルニヨリ該拂込書通數多キニ從ヒ本省ニ於ケル檢査ニモ日數ヲ要スル等諸般

ノ事情ニヨリ事實上ハ數ヶ月分同時ニ國庫ニ拂込ムノ結果ヲ生スル場合抄ラスト存セラレ候要之毎月拂込ハ收入ノ點ヨリ見テ實益少キノミナラス在外各館ニ於テモ本省ニ於テモ事務上ノ繁雜ト手數ヲ來シ却テ拂込事務滯滞ノ結果ニ陷ルノ懸念ナキヲ保シ難ク候條在外公館現金拂込ハ一般內國官廳ト異リ上記ノ如キ特殊ノ理由存スル事情ヲ御諒察ノ上出納官吏事務規程第二十一條ニヨリ特例ヲ設ケ收入金ニ限リ現金拂込期限ヲ每三ヶ月若クハ四ヶ月一回トナシ得ル様至急御詮議相成度此段及御協議候也

(別紙乙號)

六月十九日附會普通第三八七號ヲ以テ收入官吏ノ現金拂込方ニ關シ御協議有之候處右ハ左記ノ通御取扱相成候様致度此段及御回答候也

大正十一年十月四日

大藏省主計局長

外務大臣官房會計課長宛

記

一、日本銀行代理店(一般的ニ國庫金ノ出納事務ヲ取扱ハサル倫敦、紐育、浦鹽斯德、哈爾濱、長春、亞港、各代理店ヲ除ク)ノ設アル地方ニ在勤スル在外國收入官吏ノ收入金拂込方ニ付テハ出納官吏事務規程第二章第二節ノ規定ニ依ルコト

0358

二、日本銀行代理店ノ設ナキ地方ニ在勤スル在外國收  
入官吏ノ取扱ニ係ル收入金ハ毎三箇月一回若ハ數  
回ニ取纏拂込ミ得ルコト

經豫第四五五號

大正十一年十月十日

海軍省經理局長 志佐 勝

大正十一年度歳出臨時部細節科目左ノ通追加ス

款	項	目	節	細節	會計科目 略	
充費	(軍備補 造費)	(軍艦製 造船費)		第六號一 等驅逐艦 (矢風)	○ヒ	Kama- rubi
				第七號一 等驅逐艦 (羽風)	○モ	Kama- runo

右通知ス

○訓令

海軍省出仕海軍大尉 圓山 英勅  
海軍大臣官房ニ於テ服務スヘシ(請海軍大臣)

海軍公報 第三千三號 大正十一年十月十日

○辭令

海軍兵曹長 青木 泰次郎  
海軍一等兵曹 脇 國太郎  
海軍二等兵曹 深澤 友雄  
海軍三等兵曹 皆藤 梅男  
海軍一等機關兵曹 長谷川 憲  
海軍一等機關兵 小林 浦次郎  
歸朝ヲ命ス(請海軍省)

○艦船所在

指定ヲ受ケル

○十月十日午前十時調  
【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、  
球磨、多摩、大井、木曾、天龍、矢矧、韓崎、若宮、  
阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、三笠、  
鳳翔、長良、八雲、滿洲、秋津、薄、葛、樞、櫻、梨、  
竹、梯、楡、栗、梅、菱、霞、茶、如月、神風、  
初霜、響、吹雪、有明、野風、沼風、峯風、澤風、  
沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、太刀風、秋風、  
灘風、羽風、鳥風、春風、初春、初雪、追風、  
疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、潜二九、潜二八、  
潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、潜三九、  
潜三八、潜九、潜八、潜一四、潜一五、潜四〇、

九八七

0359

潜四一、潜四六、潜五八、口鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
尻矢、關東、洲崎、武藏、室戸

【石川島】

五十鈴

【浦賀】

北上

【清水】

棒、口潜二六、潜二五、

【大湊】

千歲、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、  
藤、口彌二、卯月、口潜一〇、潜一一、潜一二、  
口潜一三、潜一六、潜一七、口潜二三、潜一九、  
潜二〇、口潜二七、潜二二、潜二四、潜三七、潜四四、  
潜五一、大和、劍埼、鶴見、野島

【大阪】

驅一六、石廊

【神戸】

鬼怒、潜四七、潜五七

【徳山】

能登呂

【佐世保】

由良、龍田、肥前、鞍馬、生駒、敷島、  
須磨、常磐、最上、淀、口榊、柏、松、杉、口檜、  
櫻、桃、柳、口蓼、蓮、蓬、口白雪、霞、野分、松風、  
口潜二一、潜一八、口潜三三、潜三二、潜三一、潜四五、  
潜六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襟裳、青島

【長崎】

驅一

【寺島水道】

名取

【馬公】

口櫻、橋、樺、桐、口潜四三、潜四二

【高雄】

高崎

【新舞鶴】

鹿島、吾妻、平戸、口若葉、朝風、潮、

子日、口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、  
水七二、水七四、水七五、大泊

【鎮海】

日向、筑摩

【旅順】

口浦波、磯波

【南洋群島】

勝利、松江

【浦鹽】

口春日、日進、口海風、山風、榎、檜

【尼港】

口夕立

【八尾】

口櫻、榎

【九江】

新高

【漢口】

口對馬、嵯峨

【宜昌】

伏見

【長沙】

岡田

【重慶】

鳥羽

【馬尾】

利根

【阿波】

口淺間、磐手、出雲

【航海中】

野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)

明石(五日横須賀發吳へ)

神威(五日「ノロンオーク」發「ロボス」へ)

鞍馬(九日亞港發間宮海峽へ)

佐多(七日「タラカン」發馬尾刺へ)

口楠(八日鎮南浦發鎮海へ)

0360

桂(八日木浦發鎮海へ)  
 第十八小野丸(八日小樽發亞港へ)  
 千早(九日「サマルガ」發「インペラトルスカヤ」へ)  
 綾波(九日鎮南浦發旅順へ)  
 三日月、夕暮(九日亞港發沿海州へ)  
 白鷺(九日亞港發厄港へ)  
 桑(九日宮津發七尾へ)  
 梅(九日海州邑發鎮海へ)  
 楓(九日木浦發鎮海へ)  
 膠州(九日大阪發吳へ)  
 安宅(十日佐世保發上海へ)

○雜款

○郵便物發送先  
 第十四驅逐隊(谷風、江風、菊、葵)宛  
 十月十五日迄到著見込ノモノハ 德島縣小松島  
 同 十八日迄 同 香川縣高松  
 其ノ後ハ 吳

○郵便物發送先變更(十月四日 本欄参照)  
 第一潜水戰隊司令部、矢矧、韓崎、第十六潜水隊(第三十五潜水艦)宛  
 十月十四日迄到著見込ノモノハ 大阪府下堺

同 十七日迄 同 庫島縣 柄  
 其ノ後ハ 吳  
 第四潜水隊(第二十八、二十九、三十潜水艦)、第五潜水隊(第三十八、三十九潜水艦)宛  
 自今 横須賀  
 第三十四、三十六潜水艦宛  
 十月十一日以後 吳

○滯在地變更  
 海軍大尉醍醐忠重ハ吳ヨリ横須賀へ滯在地變更ノ儀十月九日認許セラレタリ

○外國出張  
 歐米各國へ出張ヲ命セラレタル海軍大佐井出光輝ハ來ル十月十五日東京發、同日横濱發ノ静岡丸ニテ出發ノ豫定

○虎列刺發生報(十月八、九日 内務省衛生局)  
 東京府 眞症 疑似症 保菌者 小計  
 小石川區 竹早町 一 三  
 下谷區 元黒門町 一  
 車坂町 一  
 馬道町 一  
 今戸町 一

0361



<p>○正誤</p> <p>本月七日附録通牒欄三頁下段七行「經一第九八三號」ハ「經一第九八三號ノ二」、同四頁五行頁數「六二五ノ一八」ハ「六三五ノ一八」ノ孰レモ誤</p>	<table border="1"> <tr> <td> <p>岩手縣</p> <p>盛岡驛</p> <p>下閉伊郡 宮古港</p> <p>計</p> </td> <td> <p>三二一</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>累計</p> <p>八一三四</p> </td> <td> <p>八一三四</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>三戸郡 小中野村</p> <p>八戸町</p> <p>計</p> </td> <td> <p>六一</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>志太郡 燒津町</p> <p>計</p> </td> <td> <p>六一</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>静岡縣</p> <p>累計</p> </td> <td> <p>二八一</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>稻敷郡 大宮村</p> <p>計</p> </td> <td> <p>二〇六</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>三</p> </td> <td> <p>一一一</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>五</p> </td> <td> <p>一一一</p> </td> </tr> </table>	<p>岩手縣</p> <p>盛岡驛</p> <p>下閉伊郡 宮古港</p> <p>計</p>	<p>三二一</p>	<p>累計</p> <p>八一三四</p>	<p>八一三四</p>	<p>三戸郡 小中野村</p> <p>八戸町</p> <p>計</p>	<p>六一</p>	<p>志太郡 燒津町</p> <p>計</p>	<p>六一</p>	<p>静岡縣</p> <p>累計</p>	<p>二八一</p>	<p>稻敷郡 大宮村</p> <p>計</p>	<p>二〇六</p>	<p>三</p>	<p>一一一</p>	<p>五</p>	<p>一一一</p>
<p>岩手縣</p> <p>盛岡驛</p> <p>下閉伊郡 宮古港</p> <p>計</p>	<p>三二一</p>																
<p>累計</p> <p>八一三四</p>	<p>八一三四</p>																
<p>三戸郡 小中野村</p> <p>八戸町</p> <p>計</p>	<p>六一</p>																
<p>志太郡 燒津町</p> <p>計</p>	<p>六一</p>																
<p>静岡縣</p> <p>累計</p>	<p>二八一</p>																
<p>稻敷郡 大宮村</p> <p>計</p>	<p>二〇六</p>																
<p>三</p>	<p>一一一</p>																
<p>五</p>	<p>一一一</p>																

海軍公報 第三千三號 大正十一年十月十日

(部内限ナシ)

九九一

0363

# 海軍公報

第三千四號

海軍大臣官房

大正十一年十月十一日(水)

## ○令達

官房第三四三六號

大正十一年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十一年十月十一日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

## 歳出臨時部

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
軍備制限 諸費	退職特別 賜金	職工解備 特別手當			フタ フネ フ子

## ○辭令

海軍書記 武 永 榮

海軍水雷學校附ヲ免シ吳海軍建築部勤務ヲ命ス(特明  
海軍省)

海軍公報 第三千四號 大正十一年十月十一日

## ○艦船所在

▲印ハハルニ  
指定ヲ要セス

○十月十一日午前十時調

【横須賀】 口長門、陸奥、伊勢、金剛、霧島、比叡、  
球磨、多摩、大井、木曾、天龍、矢矧、韓崎、若宮、  
阿蘇、加賀、山城、安藝、薩摩、榛名、朝日、三笠、  
鳳翔、長良、八雲、滿州、秋津、薄、葛、樺、樫、梨、  
竹、梯、楡、栗、梅、菱、薨、草、如月、神風、  
初霜、響、吹雪、有明、野風、沼風、峯風、澤風、  
沖風、矢風、帆風、夕風、沙風、太刀風、秋風、  
灘風、羽風、島風、春風、初春、初雪、追風、  
疾風、彌生、夕風、時雨、浦風、潜二九、潜二八、  
潜三〇、潜三五、潜三四、潜三六、潜三九、  
潜三八、潜九、潜八、潜一四、潜一五、潜四〇、  
潜四一、潜四六、潜五八、鷗、鴻、雉、白鷹、富士、  
尻矢、關東、洲崎、武威、室戸

【石川島】 龍

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 樺、潜二六、潜二五、

【吳】 土佐、扶桑、攝津、香取、伊吹、駒橋、

九九三

0364

千歲、明石、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、  
菊、葵、藤、口卯月、口潛一〇、潛一二、潛一二、  
口潛一三、潛一六、潛一七、口潛二三、潛一九、  
潛二〇、口潛二七、潛三二、潛三四、潛三七、潛四四、  
潛五一、大和、劍崎、鶴見、野島

【大 阪】 驅一六、石廊  
【神 戶】 鬼怒、潛四七、潛五七  
【德 山】 能登呂

【佐世保】 由良、龍田、肥前、鞍馬、生駒、敷島、  
須磨、常磐、最上、淀、口榑、柏、松、杉、口檜、  
櫻、桃、柳、口蓼、蓮、口白雪、萩、野分、松風、  
口潛二一、潛一八、口潛三三、潛三二、潛三一、潛四五、  
潛六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、櫛袋、青島

【長 崎】 應一  
【湯船原灣】 名取

【馬 公】 口櫻、橘、樺、桐、口潛四三、潛四二  
【新舞鶴】 鹿島、吾妻、平戸、口若葉、朝風、潮、  
子日、口時津風、磯風、天津風、濱風、波風、口水七三、  
水七二、水七四、水七五、大泊

【七 尾】 桑  
【鎮 海】 日向、口楠、桂、楓、梅  
【鎮南浦】 綾波  
【旅 順】 口浦波、磯波  
【南洋群島】 勝力、松江  
【浦 鹽】 口春日、日進、口海風、山風、榎、檜

【イニベールスクヤ】 千早  
【鹿 港】 口夕立  
【ペ 港】 口櫻、檜  
【オセチヤノワ】 新高  
【漢 口】 口對馬、嵯峨  
【宜 昌】 伏見  
【長 沙】 岡田  
【重 慶】 鳥羽  
【馬 尾】 利根  
【フエノライレス】 口港間、磐手、出雲

【航海中】

野間(九月三十日「タラカン」發徳山へ)  
神威(五日「ノイフオク」發「ロボス」へ)  
鞍馬丸(六日亞港發間宮海峽へ)  
佐多(七日「タラカン」發馬尼刺へ)  
第十八小野丸(八日小樽發亞港へ)  
三日月、夕暮(九日亞港發沿海州へ)  
白鷺(九日亞港發尼港へ)  
膠州(九日大阪發吳へ)  
安宅(十日佐世保發上海へ)  
宇治(十日九江發漢口へ)  
北上(十日清水發橫須賀へ)  
筑摩(十日鎮海發雄基へ)

0365



騮二(十日吳發佐世保)  
高崎(十日高雄發馬公)

○雜款

○郵便物發送先

第三戰隊司令部、球磨、多摩、大井、木曾宛

十月十四日迄到著見込ノモノハ 三重縣四日市  
同 十五日迄 同 二見  
其ノ後ハ

司令部、球磨、多摩宛 吳  
大井、木曾宛 新舞鶴

○構内電話増設

構内第六五番 海軍軍令部第三班長室

○虎列刺發生報(十月十日)

東京府

日本橋區上横町二二一、八日一名。同區長谷川町二二、  
蠣殼町一ノ四、本所區中ノ郷元町一〇、京橋區南八  
丁堀三ノ五、深川區木場町一四、淺草區馬道町八ノ  
一、北豊島郡岩淵町赤羽五八八、高田町雜司ヶ谷二  
五五、浦ノ川町瀧ノ川一二八、三河島町三河島一六、

東京府報 第三千四百號

大正十二年十月十一日

南葛飾郡小松川町一八、葛西村字喜田一三八四、各  
一名九日眞症發生。芝區愛宕下町、神田區和泉町、  
小石川區北富坂町、本所區石原町、太平町、淺草區  
千束町、松葉町、半込區早稻田鶴卷町、四谷區永住  
町、京橋區越前堀町、深川區蛤町各一名九日保菌者  
發生(隔離中ノ者)

神奈川縣  
橫濱市辨天橋際船夫三名、花園橋船夫一名九日疑似  
症發生  
累計 眞症一五二名、疑似症六名、保菌者三五名  
七日既報ノ本所區表町六四眞症一名ハ誤報ニ付累計  
ヨリ一名除ク

千葉縣  
海上郡本銚子町三名、香取郡佐原町一名九日疑似症  
發生  
累計 眞症四名、疑似症三名、保菌者一名

茨城縣  
鹿島郡東下村疑似症一名。多賀郡河原町眞症一名。  
那珂郡湊町保菌者四名。東茨城郡磯濱町保菌者五名  
九日發生  
累計 眞症三一一名、疑似症一九名、保菌者一二名

群馬縣  
前橋市諏訪町九日疑似症一名發生  
累計 疑似症一名

前橋市諏訪町九日疑似症一名發生  
累計 疑似症一名

0366

九九五

福島縣

石城郡江名村九日疑似症一名發生

累計 眞症一名、疑似症一名

岩手縣

下閉伊郡宮古港中九日疑似症四名發生

累計 眞症一名、疑似症六名

○「ペスト」發生報(十月十日)  
(内務省衛生局)

大阪府南區瓦屋町三番町豫防區域内料理仕出業男一名  
疑似症發生、本月七日同町隔離及豫防區域内ニテ捕鼠  
班發見豚鼠二頭及六日同區東賑町ニテ消毒施行ノ際發  
見シタル鼠一頭、計三頭ハ九日有菌鼠ト決定。六、七  
日既報疑似症ハ八日眞症ト決定

累計 大阪府

眞症	一八名
疑似症	一六名
有菌鼠	一五頭

(部内限ナシ)

0367